

三和区

『第54号 2024.3』

地域協議会だより

発行：三和区地域協議会
編集責任者：三和区地域協議会
会長 高橋 鉄雄
編集委員：小林 則子
飯田 英利
池田 輝幸
事務局：三和区総合事務所
(総務・地域振興グループ)
TEL 025-532-2323
FAX 025-532-2623
sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

地域協議会の活動報告と委員公募説明会を開催しました

2月29日、現在の地域協議会委員が本年4月に任期満了を迎えるにあたり、今期4年間の活動状況の報告と、新たな地域協議会委員の応募方法等を説明する公募説明会を開催しました。

地域協議会の活動報告では、地域の団体との意見交換等の開催状況や市からの諮問に対する答申、自主的審議の状況などについて報告しました。



▲ 地域協議会の活動報告の様子

○今期の地域協議会の開催回数等（令和2年5月～令和6年3月）

年度	協議会 開催回数	勉強会 開催回数	意見交換会 視察研修等 開催回数	諮問・答申 件数	新たな 自主的審議 事項件数	地域協議会 だより 発行回数
令和 2年度	9	2	3	1	—	4
令和 3年度	10	8	3	1	—	3
令和 4年度	11	10	4	2	2	3
令和 5年度	9	7	2	2	—	3
計	39	27	12	6	2	13

その他：地域活動支援事業の採択審査（令和2・3年度）
地域活性化の方向性の作成（令和4年度）

高橋 鉄雄 会長（今保）

感染症や災害、大きな不安と危機が果てしなく連続する時代、普段からの交流と信頼、助け合いの必要性を再認識し、まずは行政と地域住民との程良い関係性を築きながら、日常の身近な物事から話し合っていく、性急に結果を求めるのではなく時間をかけて出す答えもあっていい、そんな覚悟と熱い想いを持った委員の皆様を支えられながら協議会運営ができたことに心より感謝いたします。小さな気付きから。

小林 則子 副会長（錦）

今期はコロナ感染拡大により、活動が制限された中ではありましたが、委員夫々が意見を述べ合うことができた地域協議会であったと思います。特に、後半の2年間は三和区の活性化の方向性を見出すために、勉強会を重ね議論を行い、まとめることができました。

三和区の地域協議会は、地域の各団体の皆さんと話し合うことだけでなく、現地に足を運び行動をする「動く地域協議会」となりました。上越市の真ん中に位置する三和区。今期の地域協議会の活動が未来へ繋がり交流人口が増え、活気ある町になることを願っています。

飯田 英利 委員（川浦）

市長改選により市が「地域独自の予算」の活用へと舵を切ったのを受けて、我々も三和の魅力発信を起点に、観光による人流資源の発掘や史跡・自然を現地確認し、整備する必要箇所をグループに分かれ、勉強会を定例と個別で精力的に複数回に渡り活動しました。

お陰様で熱意が総合事務所・振興会・中学校を含めて他団体に伝わり、個々の活動から大きな波動・連携を生んでおり、更なる来期に期待します。

池田 輝幸 委員（日和町）

長いようで短かった地域協議会委員としての4年間、地域に関わってこなかった私が、谷内池・藤塚山・月見塚を実際に歩いて、見て、考えることで、この三和に自然がいっぱいあることを知ることができました。また、活動の中で、新たな人と人のつながりも持つことができ、オニバス復活の取組、えちご・くびき野100kmマラソンサポート、さんわ祭り、灯の回廊など、地域を元気にする力も人であることを改めて学びました。

江口 晃 委員（越柳）

任期中の一番の出来事として上げるとすれば、地域の課題であった3小学校統合が決まったことです。今後、三和小学校を中心とした新たな地域コミュニティ作りが地域の活性化に結び付くことを期待いたします。



また、今まで継続して取り組んできた自主的審議事項の三和の自然や田園の環境保全と通年観光も含めた三和の魅力を情報発信する継続した取組が必要であると思っています。大変ありがとうございました。

小山田 幸雄 委員（山腰新田）

4年の任期中で印象に残るのは、米本陣の売却の件と3小学校の統合決定です。特に米本陣は三和区のシンボリック的存在であり、三和区の活性化に利活用できないかと思っていたこともあり、売却諮問には諸状況から同意しましたが残念でした。委員になったことで三和区の魅力を再認識でき、一区民の立場でできる事を考動できたのは協議会委員になれた果実と思っています。

金井 茂康 委員（水吉）

「三和区内小学校のあるべき姿」について、平成28年度から自主的審議を行い、令和5年に三和区の小学校の統合について諮問されました。地域活動支援事業においても、三和区に配分された予算の範囲で、提案された事業の審査を行い、令和4年度で終了いたしました。自主的審議事項で「三和の自然や田園の環境保全と情報発信について」「三和の宝を巡る通年観光の企画及びイベント等の実施について」意見をまとめました。

今まで地域住民皆様の協力のおかげでやってまいりました。ありがとうございました。

田辺 敏行 委員（井ノ口）

委員として4年間地域活性化の方向性の作成に向けた課題の認識共有のため、毎回時間を忘れて意見交換したことが思い出されます。委員の総意にて決定した方向性は地域として取り組む重要課題ばかりです。今後とも継続して意見交換をしながら良い方向に前進してほしいと思います。3小学校も統合すれば新しい生活環境ができます。時節に順応した提言と地域協議会新委員のリーダーシップに期待いたします。

富村 広文 委員（日和町）

地域協議会委員の任期もあと僅かとなり、この4年間で三和区の歴史や文化、三和区をより良くするために活動されている方々も知ることができました。自分自身の宝にもなり、散策する楽しみにもなりました。観光資源が豊富な「さんわ」を住民主体で継続・発展させていくことが大切だと思いました。

星野 幸雄 委員（神明町）

前回の改選時に「シニアから子供まで安全・安心して住める三和区づくり」を考えて選挙で当選させていただきました。その後、市の移動市長室・区内外で防災・地震の件などいろいろと活動を行いましたが力不足で成果が出せませんでした。しかし、1月1日の能登半島地震で高田平野西・東縁断層（M7.2）を再認識しました。特に東縁断層は三和区の

直下にあることを改めて考えさせられることとなりました。

松井 隆夫 委員（沖柳）

4年前公募選時自らの目標4項目を振り返り、(1)子供達と若者が中心に頑張る地域づくり、(2)交通弱者対策、(3)住み良い安全安心な街づくり、(4)歴史伝統文化自然環境を守る活動、これらの課題に自主審議勉強会で各委員と共に真剣に議論と実践活動を行ったか、取り組み不足ではと反省する昨今、短い4年間でしたが今後も一個人として可能な限り街づくり活動に協力できればと思います。今後、地域独自予算の利活用と若い人達の委員参画を期待します。最後に区民皆様のご協力に感謝を申し上げます。

松栄 由里 委員（島倉）

「地域のために頑張る人を応援したい」と委員に応募しました。志ある方々の活動を知り、私自身、三和区全域を自分事として考えられるようになりました。ホテル米本陣の廃止や、3小学校の統合の諮問にお答えし、この判断がよかったと思える未来になるよう見届ける責任を感じています。新人ベテランが共に学び合い、頭も足も使った4年間でした。

宮澤 克己 委員（本郷）

早いもので、委員になり4年が過ぎようとしています。以前の私は、勤め先と自宅の往復で、三和区にあまり関心がありませんでした。委員になり三和区の現状や課題等が少しは分かってきました。

三和区には、今後上沼道三和IC（本郷）の開通が予定されますが、その開通を起爆剤として三和区が活性化できればと思います。最後に、4年間ありがとうございました。

森 由美 委員（野）

今期、地域協議会では各委員が目的を持ち、発言をし、行動を起こすようになってきました。区内の諸団体と意見交換を行い、一緒に活動する場も増えてきました。何か、元気な三和区になっていきそうな気がして、とても嬉しいです。

これから益々区内の皆さんの声を伺い、手助けをいただき、にぎやかな三和区になっていくことを心から期待しています。



編集後記



今月号の編集として今期の委員活動を振り返り、委員全員のコメントを掲載しました。今期の協議会の会議では全員発言する場面が多く見られ、活発な地域協議会であったと思います。

この雰囲気は、高橋会長がリードされた賜物ですね。

編集委員 飯田 英利